

## 宅老所・グループホームの視点と実践の研修

### <目 的>

痴呆があっても、お年寄りが最期まで共に地域で暮らせるために、宅老所やグループホームが生まれました。そのような小規模ケアでは、「馴染みの関係」の中で「その人らしく」暮らせる、「寄り添う」ケアが大切です。しかし、宅老所やグループホームの職員の中でそれを共有することは必ずしも容易なことではありません。この研修では、グループワークを通してそれぞれの経験を振り返り、それを共有し、知識と実践の橋渡しをしながら、痴呆介護の基本をお互いに学び合います。

<主 催> 宅老所・グループホーム全国ネットワーク

<日 時> 2003年6月22日(日)

<会 場> サンシャインシティ文化会館/会議室

<対 象> 宅老所・グループホーム全国ネットワーク会員(会員限定)

### <内 容>

時 間	内 容
9:30～10:00	開会・オリエンテーション
10:00～12:00	<b>痴呆介護のきほん(講義とグループワーク)</b> 講師：東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋 誠一 慶應義塾大学医療看護学部 教授 太田喜久子 (1) 痴呆のある人の気持ち (2) 痴呆のある人の気持ちを理解する (3) 介護者ができること (4) 痴呆ケアの基礎知識
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～16:00	<b>「気づき」と「ケアの方法」(事例検討、グループワーク)</b> ファシリテーター きなっせ(熊本県) 代表 川原 秀夫 ほか (1) 気づきに気づくために (2) いわゆる「問題行動」をどう考え、対応するか (3) 痴呆介護におけるケアプラン (4) あなたはどんな介護をめざすのか (5) あなたの心のケア

<定 員> 30 名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

<受講料> 5,000 円

下記の申込書に所属・連絡先電話・FAX 番号・住所・氏名を明記の上、お申込み  
ください。

<申込・問合せ先>

宅老所・グループホーム全国ネットワーク

〒981-0954 仙台市青葉区川平 5-3-18-207

TEL022(719)9248 FAX022(719)9251

メールアドレス [takurousyo\\_net@clc-japan.com](mailto:takurousyo_net@clc-japan.com)

.....

## 「宅老所・グループホームの視点と実践の研修」申込書

開催日：平成15年6月22日

FAX 022 - 719 9251

所 属	所属：	
連絡先	TEL：	FAX：
住 所	〒	
参加者		
氏 名		